

学校運営協議会 議事録

校名	府立 港 高等学校
校長名	氣賀 聡

開催日時	平成30年5月26日(土) 10:00 ~ 11:30
開催場所	大阪府立港高等学校 2階校長室
出席者(委員)	楠野 宣孝 会長 吉本 博志 委員 加藤 昭弘 委員 塚目 晃広 委員
出席者(学校)	校長 氣賀 聡 教頭 井本 武彦 事務長 上田 卓馬 首席 小畑 龍業 教諭 藤井 崇 教諭 河合 孝 教諭 片岡 知子 教諭 増崎 勝敏 教諭 毛藤 佳宏 教諭 湯本 真規 教諭 廣江 邦昭 教諭 鍛冶 樹稀
傍聴者	なし
協議資料	平成30年度学校経営計画
備考	

議題等(次第順)	
大阪府立港高等学校 平成30年度 第1回学校運営協議会	
次 第	
1	開会 (司会 教頭 井本 武彦)
2	校長挨拶 (校長 氣賀 聡)
3	学校運営協議会への改編について (校長 氣賀 聡)
4	学校運営協議会 学校運営協議会委員紹介 学校運営協議会「会長」選出
5	報告
(1)	平成29年度末及び平成30年度当初の生徒状況等(学年・分掌マネジメントから)
①	教務主任
②	生徒指導主事
③	進路指導主事
④	生徒自治会顧問
⑤	保健主事
⑥	総務部長
⑦	3学年主任
⑧	2学年主任
⑨	1学年主任
⑩	人権教育推進委員長
(2)	平成29年度学校評価について (教頭 井本 武彦)
6	協議 協議内容:平成30年度学校経営計画について
7	諸連絡
次 回	第2回学校運営協議会 平成30年10月27日(土) 予定
8	校長「閉会」の挨拶 (校長 氣賀 聡)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 1 学校長あいさつ
 - (ア) 現状報告 入試倍率は年々上がっている
4年ぶりの国際交流
 - (イ) 3つの取り組み
 - ・夏休み体育館工事
 - ・年間を通しての国際交流の機会を増やす
 - ・H31年度へ向けての準備(校時等)
- 2 学校運営協議会への改編について
保護者からの声をより取り入れるようする
- 3 各分掌報告
 - ① 学年
 - 3 年
時間・ルール・マナーの遵守を徹底
進路指導部と連携し進路実現への取り組み
1, 2年生への見本としての学校生活
 - 2 年
ルール・マナーを守る
学年独自での遅刻指導
生徒が主体的に活動できるよう支援
 - 1 年
生徒指導の徹底
進路実現に向け6月から国数英の講習開始
担任、副担任の連携
 - ② 教務部
 - ・新学習指導要領に向け取り組み。
 - ・シラバスと学習内容との見直し
 - ・教務研究会にて今後のシステムの構築
 - ・校時変更に伴う調整(50分×6時間)
 - ③ 生徒指導部
 - ・ルール・マナー・規範意識への指導
 - ・遅刻数を今年度は4000台を目指す
 - ・身だしなみ等は改善の傾向にある
 - ・朝の門当番
 - ④ 自治会
 - ・自治会長欠席
 - ⑤ 進路指導部
 - ・指定校推薦希望者数増加
 - ・大学の合格者定数が減少していく中で今までの学力で従来よりも入試が厳しくなっている
 - ・進学希望者への進路指導部としての個別面接により学力上位層に対する指導
 - ・1年次から進路指導を実施していき、進路実現につなげる
 - ⑥ 保健部
 - ・薬物乱用防止講習会等の実施
 - ・防災講習のやり方を改善
 - ・美化委員の設置
 - ⑦ 総務部
 - ・PTAから体育祭にてペットボトル飲料の配布
 - ・クラス数減少におけるPTA予算の検討
 - ・式典におけるネクタイ・リボン着用の徹底
 - ・在学中の奨学金の多様化
 - ・学校見学会や説明会時の「スクールインフォメーション」の提供
 - ・図書館利用の拡大

4 H30 学校運営計画について

- ・倍率の増加
- ・男女比の変化
- ・港区中学生の志願者、合格者数の減少
- ・学力の差
- ・港高校に誇りをもっているという質問に対しての肯定的回答が3割程度

→以上問題点解決に向け「一歩前計画」の実施

5 意見交換

Q 化粧等、生徒指導の指導レベルについて

A 府立高校で格差はあるが港高校生には必要。じっくり指導すれば改善されていき現在ではそこまで厳しく指導せずとも、大きく乱れることはない

Q それが倍率増加につながっている？

A 保護者や周囲からの評価・印象がよくなったのでつながっていると感じている

Q 進路指導は上位層だけでなく下位層にも必要では

A 下位層の生徒にはテスト前講習や長期休業中の補講で対応。さらに担任への負担も考え進路指導部では上位層にターゲットを置く

Q 3年の進路決定以降の遅刻も遅刻数にカウントしている？

A している。そこを減少させることが大切

- ・高倍率になったことにより生徒の期待(進路等)に答えていくことが必要
- ・ただあいさつするだけでなく「笑顔であいさつ」ができる生徒を育成
- ・伝統がある学校や交通の便がいい学校の人気が高い。中学生は学校の雰囲気、中学校の先生はその航行の出口がしっかりと整っているかを見ている。
 - 進路活動の広報の強化が必要
- ・分掌ごとの目標設定があることがよい
- ・HPの閲覧数の低さは更新率の低さと気になる情報の少なさが原因ではないか
- ・学校経営計画についての目標設定に対しての消化不良がおきないか心配である
- ・難関大学合格も目指すべき目標ではあるが、まずは希望進路実現率100パーセントを目指しては？

6 諸連絡

第2回学校協議会開催日程

平成30年10月27日(土) 10:00～

次回の会議日程

日時	平成30年10月27日(土) 10:00～
会場	